

矢口高雄さん死去



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2020年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

电子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報朝刊」秋田魁新報電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

釣りキチ三平、横手市出身

「釣りキチ三平」などの作品で知られる漫画家の矢口高雄（やぐち・たかお）、本名高橋高雄Ⅱた

かはし・たかお）さんが20日午後5時46分、膵臓がんのため都内の病院で亡くなった。81歳。矢口

さんの出身地横手市の市増田まんが美術館が25日、発表した。葬儀は近親者で行った。喪主は妻勝美（かつみ）さん。

矢口さんは1939年、西成瀬村（現横手市）生まれ。増田高校を卒業後、羽後銀行（現北都銀行）に入行。銀行員の傍ら、漫画雑誌への投稿を続け、「長持唄考」が月刊ガロに入選。70年に羽後銀行を退職し、上京して漫画家に転身した。

漫画原作者・梶原一騎氏の提案でペンネームを矢口高雄とし、73年には「幻の怪蛇バチヘビ」が大ヒット。同年に週刊少年マガジンで始まった

「釣りキチ三平」の連載は10年間に及び、テレビアニメや実写映画にもなった。

74年に「幻の怪蛇バチヘビ」「釣りキチ三平」で第5回講談社出版文化賞（児童まんが部門）を受賞。76年には「マタギ」で第5回日本漫画家協会賞大賞、2007年には中国の漫画賞「金龍賞」で「海外漫画傑出貢献賞」を受賞した。

画業25周年の1995年には増田町功労者表彰を受け、同年開館した増田まんが美術館の名誉館長に。2008年、横手市功労者表彰、県文化功労者表彰。



東京・目黒区の自宅で笑顔を見せる矢口さん。昨年10月